

本会議で総括質問
を行った議員

- 平塚クラブ
伊藤裕・落合克宏・片倉章博・杉山善彌・臼井照人・須藤量久
- 平塚までしこ21議員団
水野泰助・眞敏昭・小泉春雄
- 公明党平塚市議員団
穂坂光俊・高梨孝治・永田美典
- 日本共産党平塚市議会議員団
田中幸雄・松本敏子
- 神奈川ネットワーク運動
佐藤秀子
- このほか、ひらつか市民の党、市政クラブ、ひらつか企画室の議員も質問を行いました。

めぐるり活発な論議



提案説明を行う大蔵市長(後列左陶山議長、右高梨局長)

総括質問概要

平成十五年六月定例会の総括質問は、六月十二日、十三日、十六日、十七日の日程で行いました。

今定例会の総括質問では、新市長の所信表明や公約に関連して「ガラス張りの透明な市政」、「市民と協働したまちづくり」、「自治基本条例の制定」や市長の給与の一部を削減する条例改正、湘南市研究会の解散、小児医療費助成

基本的な政治姿勢をただす

市民との行政運営に努力

議長 市長は議員時代の行政をチェックする側から、運営する側の責任者となったが、基本的政治スタンスを聞きたい。

市長 議員時代の一六年間「市民の目線で市民とともに行動する議員」を一貫とした姿勢としてきた。この基本的な政治姿勢

制度の改正、ツインシティ構想への取り組み、新町プラスチック工場跡地の取得表明などについて論議が集中しました。また、八月に第二次稼働となる住民基本台帳ネットワークシステムや支援費制度へ移行した障害者福祉などについても質疑がされていました。

これらの質疑内容は、各常任委員会での質疑も併せ二〜八面で紹介します。

議長 市長は議員時代勢は市長になった今も変わらない。この重責を果たすには市民や議会の理解と協力を得て、民主的な市政運営を進める最大の努力をしていかねばならないと考えている。

議長 市長は選挙公報において「かえよう、変えます!平塚」という表題

のもとに四本の柱を立てて一二項目を挙げているが、今までどう変えていくのか。

市長 市民が進んで行政にかかわれるさまざまな仕組みをつくり、市民の意見を政策の立案から策定まで可能な限り反映させたい。それには、市の情報を積極的に公開し、意見をもらいやすくする工夫が必要と考えている。将来どのようなまちを目指すのか、グランドデザインの策定に着手し、後世に自信を持って受け継ぐことができるまちを目指したい。また、基本的には市民との協働による市政の実現、市民の目線で向き合った市政運営を目指していきたい。

議長 市長は公約実行を急ぐあまり、手順や手続きなどの問題を含め、議会をおろそかにしているのではないかと懸念

議長 市長は公約実行を急ぐあまり、手順や手続きなどの問題を含め、議会をおろそかにしているのではないかと懸念

ガラス張りの市政

具体的な取り組み尋ねる

議長 市長は「政策の決定過程に市民の声を反映させる」などと公約していたが、審議会に諮問するような政策課題は別として、各部署で作成する施策にまで市民の声を取り入れることができるのか。

市長 各職場において職員一人ひとりが仕事に責任とやる気を持ち、市民の目線に立って市民と向き合い、事業を進めていく過程で市民への説明責任を果たすことは可能と考えている。それがガラス張りの市政につながるものとなり、市民と行政が協働したまちづくりの第一歩と考えている。このようにことから市民と直接接点のある職員から説明責任を果たし、市民の声を吸収して組織の上部に伝わるようにしてもら

議長 ガラス張りの透明な市政運営を実現するための具体策を聞きたい。

市長 市民ニーズの多様化、ライフスタイルの変化など地方行政を取り巻く環境が大きく変化し、効率的で透明な行政運営が求められている。まず、市長の動きをできるだけ市民へ伝えるためホームページ上に「交際費」、「行動記録」など八項目を掲載する「ようこそ、平塚市長室」を設けた。市全体に関することでは、本年七月一日施行の情報公開条例の中で、市民参加による開かれた市政の実現のため審議会等の公開を定めた。また、会議日程や会議内容の情報などもホームページに掲載し、市の動向を市民にわかりやすく情報提供できる体制を推進したい。

総合的なまちづくりの指針

自治基本条例制定へ

議長 市民が安心して暮らすことができる社会とするための基盤整備は必要だと考える。所信表明の中で自治基本条例の制定に取り組むとしているが、自治基本条例の具体的なイメージについて聞きたい。

市長 地方分権の時代にあってはどのような地域

議長 市民が安心して暮らすことができる社会のために住民、議会、行政はどのような役割を果たすべきなのか、そのまち自身が定めていくことが求められている。自治基本条例は、このような自治の在り方を明らかにし、住民の意向をよりどころとして、まちづくりを進めていくための基本的な

市民参加のまちづくり

対話集会などで実現

議長 情報公開条例の施行で市長の目指すガラス張りの市政は実現できるのか。

市長 この条例が十分に

議長 情報公開条例の機能すれば、市政の公正さ、透明性は推進できると考えている。しかし、情報公開条例だけではなく、広報紙、記者会見、見極め、政策の立案に反映したいと考えている。リーダーシップとは、いづれの団体や市民とも等しく意見や提言をいただき、十分にそしやく、調整したうえで行政運営に反映させ、その執行について行政の長としての責務を全うすることと考えている。

議長 市政運営の基本的な考え方の最初に市民との協働したまちづくりを挙げているが、市民の参加・参画を得た行政運営とはどのようなことを考えているのか。

市長 政策形成過程だけではなく、政策の執行段階でも市民の声を聞くことなど市民参加・参画の手段または機会を一層拡

とすることは、市民との協働や地方分権を推進していくのに最もふさわしい機会であると考え、条例の制定に向けて検討作業を進めていきたい。

議長 この条例にはどのような内容を盛り込むか、えなか。

市長 まちづくりの理念をはじめ、市民と行政の協働の原則やルール、パブリック・コメント、住民投票などを想定している。

議長 策定過程における

市民参加については、どのような手法を考えているのか伺いたい。

市長 条例策定に当たっては、市民の声を十分に聞き、同時に議会でも議論してもらわねばならない課題であると考えている。市民の参加、参画の形態は公募市民によるワークショップ、公募市民を中心とした審議会や協議会あるいは、パブリック・コメントの導入など多様な手法があるが早期に検討したい。

議会	日誌
5・8 各派交渉会	見極め、政策の立案に反映したいと考えている。
5・15 各派交渉会	リーダーシップとは、いづれの団体や市民とも等しく意見や提言をいただき、十分にそしやく、調整したうえで行政運営に反映させ、その執行について行政の長としての責務を全うすることと考えている。
5・19 臨時市議会	議長 市長の目指すガラス張りの市政は実現できるのか。
5・27 議会運営委員会	議長 情報公開条例の機能すれば、市政の公正さ、透明性は推進できると考えている。しかし、情報公開条例だけではなく、広報紙、記者会見、見極め、政策の立案に反映したいと考えている。
6・3 定例会市議会初日	議長 市長の目指すガラス張りの市政は実現できるのか。
6・12 定例会市議会二日目	議長 この条例にはどのような内容を盛り込むか、えなか。
6・13 定例会市議会三日目	議長 策定過程における
6・16 定例会市議会四日目	議長 市民参加については、どのような手法を考えているのか伺いたい。
6・17 定例会市議会五日目	議長 条例策定に当たっては、市民の声を十分に聞き、同時に議会でも議論してもらわねばならない課題であると考えている。
6・18 総務経常委員会	議長 市民の参加、参画の形態は公募市民によるワークショップ、公募市民を中心とした審議会や協議会あるいは、パブリック・コメントの導入など多様な手法があるが早期に検討したい。
6・19 都市建設常任委員会	議長 策定過程における
6・25 議会議決委員会	議長 策定過程における
7・2 議会編纂委員会	議長 策定過程における
7・22 議会編纂委員会	議長 策定過程における